# 学校保健

（題字は元北海道学校保健会会長　吉田　信）

発　行
公益財団法人北海道学校保健会
札幌市中央区大通西６丁目
北海道医師会館５Ｆ
☎（011）　221-5240

## 児童生徒の健やかな心身の発達をめざして


北海道教育庁学校教育局健康・体育課長
公益財団法人北海道学校保健会　理　事　　今　村　隆　之


皆様におかれましては、日頃から学校保健の充実に多大な御尽力をいただき、心から感謝を申し上げます。また、日々新型コロナウイルス感染症の治療等に従事されている医療関係者の方々に深く敬意を表します。

さて、近年、教育界では、「社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難になっており、全ての子どもたちの生き方に影響するものとなっている」という指摘がよく行われます。新型コロナウイルス感染症など現代社会の諸現象に鑑みれば、多くの皆様と共感するところではないでしょうか。

こうした中、次代を担う子どもたちに身に付けさせるべきものは、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力で構成される「生きる力」でありますが、中でも「健康」は生きる力を支える基盤になるものと考えます。

道教委では、本年３月に「公立学校児童等の健康状態に関する調査」の結果を公表しました。本調査は、公立の幼稚園、小・中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、３年に一度実施しています。

本結果からは、本道の子どもたちについて、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が、年齢が高くなるにつれて増加傾向にあり、中学校１年生で50％を超え、高校では全学年で全国平均を超えていることが明らかとなりました。また、「むし歯の者」の割合は、過去と比較すると改善傾向が見られるものの、全ての学年で全国平均を上回っています。道教委では、これらを大きな課題と受け止め、関係の皆様とともに解決に取り組む必要があると考えています。どうか、皆様の変わらぬ御理解と御協力をお願いします。

各学校におかれては、本調査結果も活用し、子どもたちの健康に関する状況を把握・分析いただき、学校医、学校歯科医、学校薬剤師をはじめとする専門家と連携しながら、健康教育の充実を図り、生涯を通して心身ともに健康な生活を送るための「健康リテラシー」の育成に御尽力いただきますよう、よろしくお願いします。

目　次


○巻頭言　「子どもたちの健やかな育ちのために～健康状態に関する調査の結果から～」
北海道教育庁学校教育局健康・体育課長
公益財団法人北海道学校保健会　理　事　　今　村　隆　之……１
○令和３年度学校保健講演会報告　　北海道学校薬剤師会　副会長　　中　山　　章……２
○実践発表　「力を合わせて進める学校保健～新型コロナウイルス感染症への取り組みから～」
北海道帯広農業高等学校　養護教諭　　寺　嶋　理恵子……４
○令和４年度公益財団法人北海道学校保健会事業計画・予算……７

# 令和３年度　学校保健講演会

日時：令和４年３月８日(火)
～３月31日(木)
会場：道学薬ホームページでの
オンデマンド開催
主催：公益財団法人　北海道学校保健会
一般社団法人　北海道薬剤師会
北海道学校薬剤師会
共済：札幌学校薬剤師会

北海道学校薬剤師会　副会長
**中　山　　章**

学校保健講演会は、隔年で開催されており、本来は、令和３年３月の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られた。今回、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、道学薬ホームページでのオンデマンド開催とした。

## 演　題

**新型コロナウイルス感染症から子供を守る：学校での感染対策**

**講　師**

北海道医療大学　看護福祉学部
教　授　**塚　本　容　子**　先生

感染症のエンドゲームには、以下の４つのシナリオが考えられ、

① 完全にウイルスが消滅する　例：天然痘
② ワクチンによりコントロール可能
例：麻疹
③ ワクチンによりコントロールはある程度可能　例：インフルエンザ
④ 行動変容によるコントロール　例：ＨＩＶ

新型コロナウイルス感染症は、③または④の、いわゆるウィズコロナという状況が続くのではないかとのことである。

現状では、感染対策から、自宅等で過ごす時間が長くなっており、このことは、身体的、精神的な機能低下を引き起こしている。今後は、新型コロナウイルスと上手く付き合いながら、Well-beingを取り戻すことが大切である。

コロナ禍が、メンタルヘルスに与えた影響は大きく、若い人ほど影響が大きいとの調査結果が出ている。さらに、子供における運動とゲーム時間、メンタルヘルスに関する報告(Association of Children's Physical Activity and Screen Time With Mental Health During the COVID-19 Pandemic, JAMA Netw Open. 2021;4(10):e2127892)では、下記のような事が明らかとなっており、体を動かすということが、非常に大切であり、最低でも１日１回は外に出かけるような工夫が必要である。今後は、感染対策と、日常生活のバランスを考えてコロナと付き合っていかなければならない。

- 小さな子供（６－10歳）では、毎日体を動かすと、体調不良の訴えが少ない（毎日動かさない子供と比較して半分）
- 大きい子供（11－17歳）では、週何日でもいいので、体を動かす機会があると、不調が８割ほど減る。
- どんな程度でも、体を動かすことでスクリーン（ゲームやe-learning）時間が減り、メンタル面での不調が減る。

次に、子供の感染状況と重症化について、全世界のデータ(ＷＨＯ)で、若年層の死亡者の割合は、５歳未満が0.97％、５～14歳は0.07％、15～24歳が0.36％となっており、学齢層の死亡割合は低い。重症化については、ごく稀に、多臓器炎症症候群が見られるが、基礎疾患の有無などの背景については不明な所が多い。デルタ株までは、子供の感洗例は少なかったが、オミクロン株になり状況は一転した。オミクロン株は、感染力が強くデルタ株の４倍といわれており、咽頭・鼻腔で増殖し、肺炎にはなりにくい。このため、マスクが重要となり、素材も布やポリウレタンではなく、不織布のマスクの着用が推奨される。

**○子供のマスク着用に関して、**

- 基本的には、小学校に上がる前までの着用は難しい
- 個々の成長発達に合わせて判断

- 発達段階に合わせて（着脱のコントロールできるか）
- 屋外で人との距離を取ることができれば、マスクを着用しなくても大丈夫
- 今後、感染力の高い変異ウイルスが出てきたときには、これらは変わってくる
- 布マスクなどより、不織布のマスクの着用が必要

今後、さらに変異したウイルスが出現するかもしれないが、異なった対策が必要になるわけではなく、これまでの基本的な感染対策を徹底していくことが大切である。

感染対策の原則は、持ち込まない、早期発見（抗原検査キット活用）、例外を作らないの３点である。例外を作らないという項目の具体例として、体育時間にマスクを着けられない場合は、ソーシャルディスタンスを確保するであるとか、黙食だけではなく、水分補給でマスクを外す際も喋らないという例が紹介されていた。

また、飛沫感染や、換気方法、接触感染、手指衛生に関しての話があり、接触感染に関して、児童生徒のみならず、電話機や、コピー機など共用するものが多い職員室にも、手指衛生用アルコールの設置も大切であるとの指摘が有った。

最後に、学校イベントの考え方として、下記の項目についての話が有った。

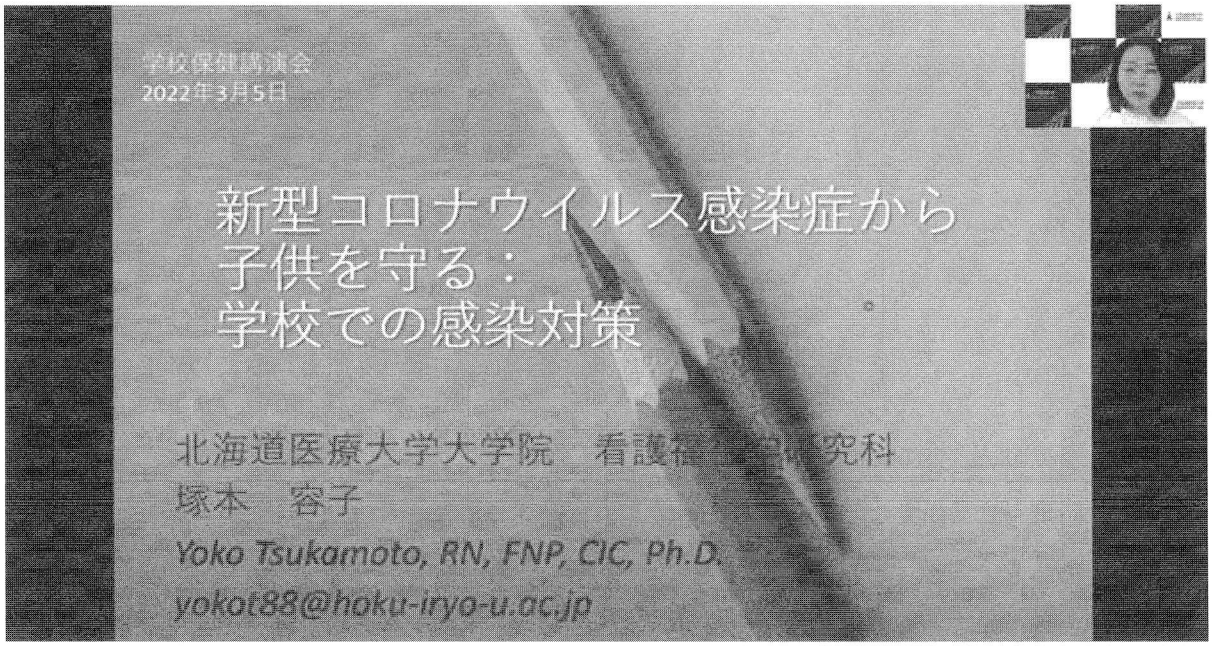
**○学内では、**

- 屋内のイベントでは、マスクの着用、手指衛生、換気の徹底で行う。
- 保護者参加については、開催方法が大切
- 保護者の体調管理（１週間以内に発熱・体調不良がある人は参加を控える）
- 保護者の感染対策（学校に入るときの手指衛生、マスク着用の徹底）
- 地域の感染状況に応じた対応

**○校外学習などでは、**

- 体調管理（イベント１週間前からの体調について確認）
- 宿泊を伴うものに関しては、地域の感染状況に応じて検討
- 万が一、子供が体調を崩した時の対応を検討
- 同じ部屋で宿泊している児童　→　濃厚接触者
- 食事を共にしている児童　→　状況に応じて
- 抗原検査を可能なら準備して持参（精度は症状が出て翌日で70％程度）

学校教職員向けにと、お願いした講演ではあったが、我々、学校薬剤師にとっても、今一度、感染対策の原則を見直すいい機会であったと思われる。本会では、新型コロナウイルス関連情報をホームページに掲載し、随時、更新しているので、担当校の感染対策に活用頂きたい。



# 実 践 発 表

## 力を合わせて進める学校保健

### ～新型コロナウイルス感染症への取り組みから～

北海道帯広農業高等学校
養護教諭　寺　嶋　理恵子

### 1　はじめに

本校は、全日制職業高校で、現在573名の生徒が在籍しており、５つの学科があります。

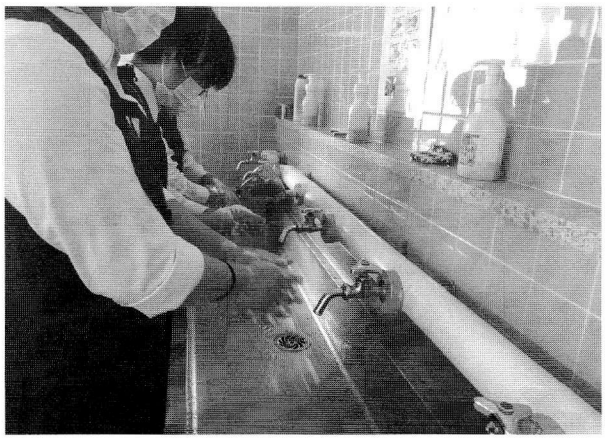
全国の農業高校の中でも農業後継者の割合が高く、令和２年度に創立100周年を迎えました。運動部活動がとても盛んで、体力があり体が丈夫な生徒が多いです。

荒川弘さんの漫画『銀の匙』や昨年度の野球部の甲子園出場等、外部からの注目も常に高い学校です。寮があり、全国・全道から生徒が入学しています。

そのことにより、本校の学校保健は、特に感染症対応において、他校にはない配慮や困難があります。新型コロナウイルス感染症が発生してから、教職員、家庭、学校三師、そして生徒の活動など、すべての関係者が力を合わせて取り組んでいます。

### 2　本校の自慢は生徒たちの丁寧な手洗いです

本校の自慢は、生徒たちの丁寧な手洗いです。手洗いの方法の掲示物が貼ってあり、それに沿って、最後にカランまで洗う生徒が多いです。



もともと、防疫や食品衛生など、清潔についての学習がなされている学科が多いということも、本校の感染予防における有利な点です。

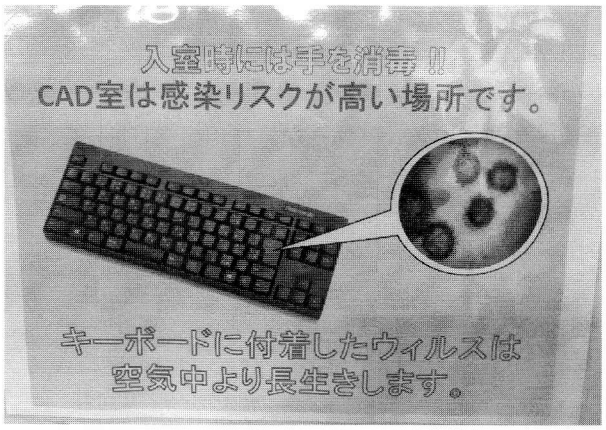
本校の手洗い場にはこんな掲示物が貼られています。ＮＨＫの朝の連続テレビ小説「なつぞら」で一躍有名になった「ＦＦＪの歌」の１番が、ちょうど手洗いをしてほしい時間の30秒で、農業高校らしい楽しい取り組みになっています。

### 3　すべての教職員が力を合わせるために

#### (1)　質の高い情報を迅速に共有する

本校の教室の入口には、「入室前に必ず手を洗うこと」と書かれた掲示物が貼られています。作成したのは養護教諭でもなく、保健体育部でもなく、ある学年の担任団です。

写真はＣＡＤ室入口に貼られている掲示物です。これは、この教室を使用する学科の先生が作成しました。




このように教職員全員が主体的に力を合わせることにつながった要因の一つ目は、必要な情報や質の高い知見の迅速な共有です。文部科学省や道教委からの通知は、すみやかに、わかりやすくまとめて、お知らせするよう、努めています。

また、国立感染症研究所、専門家会議、ＣＤＣ、ＷＨＯなどからの、最新の知見やクラスター分析などは、学校体制を考える上で、大変興味深く、役立つ情報が多いです。

最近では、国立感染症研究所から出された、高校生のスポーツの大会におけるクラスター分析に基づく主催者への提言は、すぐに全教職員に情報

提供しました。事務局校になることが多い本校では、大変重要な指摘ばかりでした。

**(2) わかりやすい形で共有する**

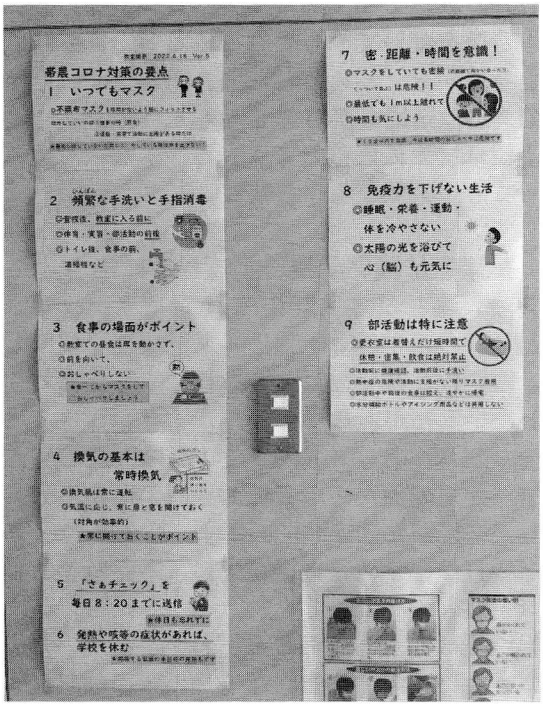
本校では、新しい通知の内容について、学校行事、部活動、出席停止、消毒、換気など、項目ごとにまとめた「北海道帯広農業高等学校　感染症対策一覧」を作成しています。この４月でVer.11になりました。

これは保護者や外部関係者向けに、学校のホームページにもアップしています。

**(3) 指導しやすい形で提供する**

生徒向けには「帯農コロナ対策の要点」という教室掲示物を作成し、先生方が生徒に指導しやすい形で提供しています。いつでも、感染予防対策として、今何をしなければならないのかが、生徒や教職員の目に入るようにしています。Ａ４版数枚に分かれており、それぞれの学級の掲示板の空きスペースによって、自由にレイアウトされています。作成する側としても、改訂する部分だけ貼りかえればよいので、大変便利です。

また、大事な節目には、養護教諭から放送で一斉指導もしています。




## 4　学校医・学校薬剤師と連携して

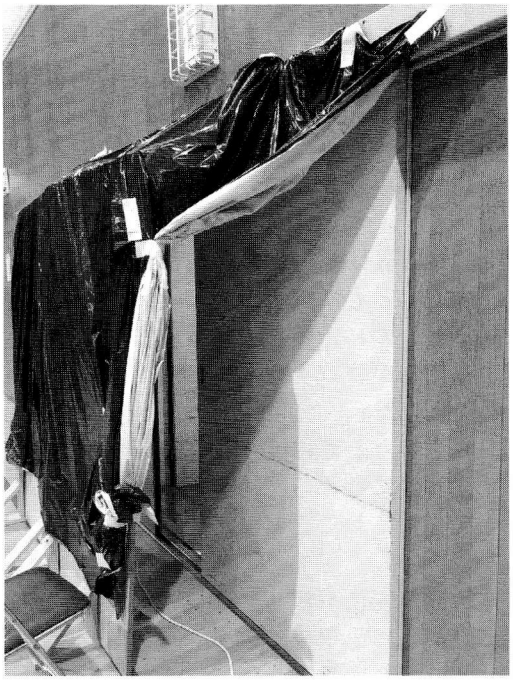
**(1) 「寮の感染管理マニュアル」の作成**

本校ならではの困難な状況は、「寮があること」です。ほとんどの学校では生徒の風邪症状はご家庭にお預けすることができるのですが、本校では公共交通機関を使わなければ自宅に帰ることができない生徒たちがいます。

文部科学省の衛生管理マニュアルに寮のことが章として具体的に入ったのは、令和２年10月です。しかし全国一斉休校後の６月から寮を運営するためには、学校として、寮の感染管理マニュアルを作成しなければなりませんでした。

そのため、学校医と学校薬剤師の先生に全国一斉臨時休校中の令和２年４月に寮を丹念に見ていただき、学校保健委員会での話し合いで、指導助言をいただきました。

**(2) 換気の実証実験から「常時換気」が基本に**



これは、体育館での冬季の農業クラブの行事の時に、農業クラブのメンバーが体育館の常時換気を工夫して実施してくれたものです。扉を常時少し開けておき、圃場で使用するマルチを活用して冷気と明るさが体育館に直接入らないようになっています

本校では、「換気は常時換気が基本。常時換気が最も効果的で労力も少ない」ことが定着しています。それは、薬剤師会で購入された二酸化炭素モニターをお借りし、学校薬剤師の先生と教室、職員室、職員会議、体育館における行事などにおいて換気の実証実験に取り組んだ結果からです。

結果は、１時間の授業の中間と終了時に換気するという間欠換気では、学校環境衛生基準の二酸化炭素濃度1,500ppmを下回ることはできませんでした。基準値を下回り、室温の低下も少ない方法は、常に教室の窓と扉を対角に少し開け、かつ換気扇を常時運転しておくという常時換気でした。

また、同じ構造で隣同士の教室で、同じ方法で換気したのですが、結果が大きく異なるというこ

とが起こりました。二酸化炭素濃度が低く抑えられていた教室の担任にそのことを伝えると、「ひょっとして、つい最近、教室の換気扇を奥のダクトまで掃除したからではないでしょうか」と言われました。

北方建築総合研究所が、常時換気と換気扇の清掃は重要性を指摘していましたが、それと同じ結果が学校での実証実験で得られたことは、大きな収穫でした。

また、本校には本館と新館という２つの構造が異なる校舎が繋がっており、同じ方法で換気しても本館は新館より換気しづらい結果となりました。本館は、廊下や階段の幅が、新館よりかなり狭いことが要因と考えられ、教室の周囲の構造により、換気効率は大きく違い、実際に測定してみることの重要性がわかりました。

### (3) ともに取り組むための土台を作る

今日まで、ともに向き合ってきた日々の実際を振り返ると、困ったときにはすぐに相談し、直接訪問することがコロナ以前では考えられなかったほど増えました。

ご相談をしたときに、学校医や学校薬剤師の先生が学校と共に考えるための材料を、機を逃すことなく共有しておくことが、土台になってきたと思います。

感染状況の変化や新しい知見により、新たな通知が届くたびに、学校の感染管理体制を見直していくわけですが、通知だけではなく、それを考えるために役立つ国立感染症研究所や専門家会議などの資料は、直接届けています。

## 5　家庭・地域と力を合わせて

2009年の新型インフルエンザの時から、「家庭も一緒に守らなければ、学校を感染症から守ることはできない」と痛感しています。

そのために、令和３年４月から学校のホームページに「コロナウイルス関連」というバナーを置き、ご家庭や関係機関に向けて、積極的に情報発信をしています。

ホームページに情報をアップしたときは、保護者の登録メールにお知らせし、すぐに確認していただけるようにしています。

また、風邪症状の生徒を迎えにいらした保護者の方と直接お話しすることも大切にしています。

本校では、生徒と離れて暮らす全国・全道のご家族も、各学科のたくさんの外部関係機関も地域です。学校のホームページでの情報提供はそのことも意識しています。

## 6　生徒の活動に守られて

ある日のお昼の放送を紹介します。

> 皆さん、こんにちは。お昼の放送です。
> だんだん日が暮れるのが早くなってきました。夜間での自転車の走行時で、ライトの早めの点灯や、歩行者との衝突など、事故にも気を付けて生活していきましょう。
> また、考査まで残り3日となりました。皆さん、苦手なところや不安な教科をしっかり勉強して考査に備えましょう。
> 新型コロナウイルス感染症対策で、昼食の際には、自席で前を向いて、黙食をしましょう。また、大人数で密集して会話するなどはやめて、昼食後は速やかにマスクを着用しましょう。
> それではこれから、お昼の放送、『校歌』を流します。お昼に流してほしいリクエストがありましたら、各クラスの放送局員までお知らせください。
> 以上、農業土木工学科が担当しました。

これは、火曜日と木曜日に流れる、放送局によるお昼の放送です。黙って食べる味気ない昼休みを、音楽を聴いて少しでもうるおいのある時間にできないかと、始められた取り組みです。話す内容は、各放送局員が自分で考えています。

本校は、生徒たちのこうした豊かな取り組みによっても感染症から守られています。

## 7　感染症に強い学校にするために

養護教諭として、2009年の新型インフルエンザと今回の新型コロナウイルス感染症を経験し、日本の学校を感染症に強い学校にするために、提案したいことがあります。

一つ目は、教室の広さと1学級の人数の見直しです。換気の面からも身体的距離の面からも、見直しが必要だと痛感しています。

二つ目は、学校に機械換気による常時換気システムを導入することです。

三つめは、子どもたちが思わず手を洗いたくなるような、清潔で機能的な手洗い場の創設です。学校の手洗い場を、空港やホテルのように、清潔で、自動で泡の石けんが出て、非接触で水が流れるというレベルにしたいと願っています。学校こそ高い機能を備えた清潔な手洗い場が必要だと思います。

次の未知の感染症が発生したときに、子どもたちの学校生活が今よりももっと笑顔で継続できることを強く願っています。

# 令和４年度 公益財団法人 北海道学校保健会事業計画（概要）

## 第１　専門医健診推進事業

昭和36年度から、医療機関に恵まれない地域の児童生徒の健康の保持増進を目的として、道及び市町村が経費を負担し児童生徒巡回診察事業を行ってきたが、62年度から、当会が形を変えて継続することとなり現在に至っている。

児童生徒の学校での健康診断において専門医（眼科・耳鼻咽喉科）の確保が困難な教育委員会に対し、北海道教育委員会、北海道医師会、北海道眼科医会・北海道耳鼻咽喉科医会の協力を得て専門医の紹介を行い、児童生徒の健康保持増進を図る。

専門医の確保が困難な地域の、児童生徒の健康の増進を図る上で、この事業の担う役割は大きくなっている。

＜今年度実施予定町村＞

（眼科健診）

江差町・苫前町・初山別村、津別町・湧別町・別海町　　６町村

（耳鼻咽喉科健診）

石狩市・苫前町・羽幌町・天塩町・猿払村・浜頓別町・枝幸町・幌延町・礼文町・利尻町・利尻富士町・湧別町　　12市町村

## 第２　研究啓発事業

学校保健活動の充実を図り、学校・家庭・地域社会が連携し、課題解決に向け研究会を開催し、調査研究

### １　第69回北海道学校保健・安全研究大会根室（根室）大会の開催

各関係機関と連携して主催し、第69回北海道学校保健・安全研究大会根室（根室）大会の充実に努める。

日　時　令和４年11月20日（日）
会　場　根室市
　　北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）
　　根室市穂香110番地９

### ２　学校歯科保健研究会・学校保健講演会の開催

学校保健の推進充実を図るため、北海道歯科医師会と共催で、「学校歯科保健大会」を、北海道薬剤師会と共催で講演会を隔年で開催している。

## 第３　普及発展事業

### １　広報活動事業

本道の学校保健の充実発展を図るため、会報「学校保健」を年３回発行し、当会の活動内容の周知及び各種学校保健活動を紹介する。

＜発行予定＞

| | |
|---|---|
| １１７号 | ６月30日 |
| １１８号 | ９月30日 |
| １１９号 | １月31日 |

### ２　学校保健関係図書の紹介・斡旋、資料収集配布事業

学校保健関係専門図書等の紹介及び斡旋並びに学校保健資料の収集配布を行う。

## 第４　顕彰奨励事業

### １　学校保健功労者表彰

本道の学校保健及び学校安全の振興に功労のあった個人並びに学校保健団体を表彰し、本道の学校保健の進展に寄与する。

＜被表彰予定者数＞

| | |
|---|---|
| 学　校　医 | 50名 |
| 学校歯科医 | 32名 |
| 学校薬剤師 | 10名 |
| 教　職　員 | 2名 |

# 令和４年度 公益財団法人 北海道学校保健会 収支予算（概要）

単位：千円

| 科　　目 | 予算額 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| **【事業活動収支の部】** | | |
| **事業活動収入** | | |
| ①基本財産運用収入 | 5,128 | |
| 基本財産利息収入 | 5,128 | 社債、公債、定期預金 |
| ②事業収入 | 1,260 | |
| 受託事業収入 | 200 | 日学保委託事業 |
| 受取負担金収入 | 540 | 会報年３回 |
| | 520 | 功労者表彰 |
| ③雑収入 | 3 | 普通預金利息等 |
| 受取利息収入 | 0 | |
| 雑収入 | 3 | |
| 事業活動収入 | 6,391 | |
| **事業活動支出** | | |
| ①事業費支出 | 3,277 | |
| 給料手当 | 964 | 給料手当 |
| 福利厚生費 | 150 | 社会保険料 |
| 旅費交通費 | 60 | 全道研究大会 |
| | 20 | 専門医健診打合せ |
| 通信運搬費 | 45 | 文書送料、郵券 |
| 消耗品費 | 10 | 事業活動消耗品 |
| 印刷製本費 | 580 | 会報 |
| | 302 | 道大会開催要項 |
| 賃借料 | 357 | 事務所借上、清掃料 |
| 諸謝金 | 15 | 会報原稿謝金 |
| 会議費 | 12 | 専門医健診打合せ |
| 報償費 | 560 | 功労者表彰楯代金 |
| | 202 | 専門医健診助成 |
| ②管理費 | 2,978 | |
| 委託料 | 331 | 会計事務 |
| | 42 | ホームページ |
| 給料手当 | 890 | 給料手当 |
| 福利厚生費 | 139 | 社会保険料 |
| 会議費 | 3 | 役員会等 |
| 旅費交通費 | 190 | 役員会等 |
| 通信運搬費 | 273 | 文書送料、電話料金等 |
| 消耗品費 | 20 | 事務用品消耗品 |
| 印刷製本費 | 15 | 封筒印刷等、コピー代 |
| 賃借料 | 329 | 事務所借上、清掃料 |
| 租税公課 | 70 | 法人道民・市民税 |
| 支払負担金 | 653 | 日学保拠出金、 |
| | 3 | 社会保険協会費 |
| 雑　費 | 20 | その他 |
| 事業活動支出計 | 6,255 | |
| 事業活動収支差額 | 136 | |
| **【投資活動収支の部】** | | |
| **投資活動収入** | | |
| 投資活動収入計 | 0 | |
| **投資活動支出** | | |
| 投資活動支出計 | 0 | |
| 投資活動収支差額 | 0 | |
| **【財務活動収支の部】** | | |
| **財務活動収入** | | |
| 財務活動収入計 | 0 | |
| **財務活動支出** | | |
| 財務活動支出計 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | |
| **【予備費支出】** | | |
| 当期収支差額 | 136 | |
| 前期収支差額 | 4,106 | |
| 次期繰越収支差額 | 4,242 | |

※給料、福利厚生、賃借料については、事業費および管理費の双方から割合に応じて支出